

「〇〇先生の診療はいつだろう…」と、困ったことはありませんか？

総合案内で最新の「外来診療担当表」を配布



スマートフォンから
も確認できて便利！

1月から、市立病院1階 総合案内で市立病院「外来診療担当表」を配布しています（毎月15日頃に情報を更新）。診療表が必要な人は、窓口へお申し出ください。

○市立病院だより「きらり」で「外来診療担当表」を掲載してきましたが、今後は、市立病院で最新の担当表を配布させていただきます。

○最新の外来診療担当表は、市立病院ホームページで随時更新しています。

デジタルピアノを寄贈いただきました！

市立病院でピアノを奏でてみませんか？

市内在住の懇名の人から、「市立病院の待合スペースで、不安や悩みを抱える患者さんやそのご家族の心を癒したい…」との思いで、デジタルピアノをご寄贈いただきました。

演奏時間 午前8時30分～正午 ※日曜演奏

▶演奏いただけるボランティアを募集します

「人前で演奏するのは苦手…」という人も安心！録音機能がありますので、ぜひご応募ください。詳しくは市立病院へお問合せを



がん患者やそのご家族がほっと落ち着ける場所

「がんサロン」に参加しませんか？

がん患者さんやその患者家族が日常のさまざまな悩みなどを共有し、情報交換を行う交流の場です。

日時 1月25日(水) 午後2時～3時30分

場所 市立病院

1階 総合案内棟

対象 市内在住の

がん患者・その

家族

○参加無料、

申込不要



もっと親しみやすく、もっと身近に
「がんサロン」の愛称を募集

がん患者やそのご家族に限らず、皆さんに愛され親しみを持ってもらえるような愛称を募集しています。

募集期間 3月10日まで

募集方法 QRコードを読み取って

応募フォームに入力し応募

○愛称は決定次第、市立病院HPで発表



メデイ☆ナバ

あなたがいちどりと知っとこ健康チャンネル

第9回「不整脈」

ケーブルTV、FMラジオ (83.5MHz)、動画配信サイトなどでご覧いただけます。



市立病院 藤井 英太郎院長が不整脈について、わかりやすく解説しています。

市立病院の受付時間

<予約のない人> 受付時間 午前8時30分～11時30分

○内科、循環器内科、内科系専門外来は、医師の紹介状をご持参ください。

○各専門外来は、事前予約を必要とする完全予約制です。

○小児科のみ木曜日午後1時30分～4時も受付しています。

<予約のある人> 午前8時から予約完了時刻まで

※現在、受付は
お断りしています

名張市立病院だより

きらり

No.53

発行/名張市立病院
〒518-0481
三重県名張市百合が丘西1-178
☎0595-61-1100(代表)
℡0595-64-7999
✉hp-somu@city.nabari.mie.jp

市立病院HPはこちら



★院外・院中診療などは、月に1回窓口で確認します。
また、変更・変更の都合は必ずご確認ください。



藤代 亜佑美
小児科

私が小児科医を目指す理由は、第一に子どもが好きであること、第二に病気を治すだけでなく、子どもの成長にも関わることができ、その後の人生の選択の幅を広げることができると思ったからです。皆様に安心して診療を受けて頂けるよう努めていきます。



原口 耕平
小児科

これまで、関西医科大学附属病院などで小児科医として勤務してきました。ただの「担任医」というだけでなく、名張に住む皆様のお力になりたいと考えています。医療の「基本」に忠実な診療を心がけて精進していきたいと思えます。



中村 祐基
呼吸器内科

以前は、松阪の病院に勤務していました。呼吸器に関する病気でお困りの患者様は年々増加しています。一方で、新薬の登場や遺伝子検査・化学療法などが進歩しています。「咳」や「喘息」でお悩みの皆さん、お気軽にご相談ください。

新しい医師3人を ご紹介します

昨年10月から市立病院に勤務している3人の医師をご紹介します。ぜひ、ご声援を！

市立病院 職員募集中

国 薬機部考査委員会事務局 (総務企画室内)
☎ 61・1100



薬剤師

医師や看護師など、他の職種とも連携し、感染対策などの「チーム医療」にも関わっています。ぜひ、市民のために活躍できる薬剤師の仲間になりましょう。



看護師

新人看護師への教育や指導が充実しています。先輩たちが丁寧に教えてくれます。さらにキャリアアップの支援も豊富。育児との両立もできますよ。

募集職種
▶ 看護師 ▶ 薬剤師
▶ 言語聴覚士
▶ 医療ソーシャルワーカー
○採用条件など、
詳細は問合せ先へ

シリーズ 市立病院の 未来 vol.3

現在、市立病院の地域に果たすべき役割や経営形態に関することなどを、学識経験者で構成される委員が議論しています。

今号では、第5回(9月15日)、第6回(11月17日)の検討委員会から主な意見や内容を紹介します。

委員会の議事録や資料はHPで公開

「市立病院在り方検討委員会」を開催

地域医療に果たす役割や機能、経営形態などを検討しています

第5回(令和4年9月15日開催)

医療提供体制及び経営形態について

【主な意見】

- ・市が出資して設立する「地方独立行政法人」とすることで、経営の自主性が高められ、魅力のある病院になるのでは。
- ・地域医療体制で不可欠な救急医療や小児医療といった部門に対しては、市(一般会計)からの繰入金が必要。
- ・職員が主体的に働けるよう、さらなる働き方改革を行うことが重要。

第6回(令和4年11月17日開催)

答申原案について

【主な内容】

- ・委員会としての「答申書(案)」が示された。
- ・市立病院の「経営の自主性・迅速性」「雇用の専断改革」「医師確保」の3つの視点や、診療体制の充実・高度化に伴う医療ニーズへの対応などについて議論。
- ・次選(第7回)、委員会としての最終的な意見の取りまとめを行う。